

SELF-HOSTING

セルフホスティングSCIM

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/self-hosting-scim/>

セルフホスティングSCIM

SCIMを使用して、セルフホスト Bitwarden 組織のメンバーとグループを自動的にプロビジョニングおよびプロビジョニング解除するには、`config.yml`ファイルでフラグを有効にする必要があります。Bitwarden サーバーで SCIM を有効にするには、次の手順に従います：

1. 最低でも**`bwdata/mssql`**のバックアップを保存してください。SCIMの使用開始後は、問題が発生した場合に備えてバックアップイメージにアクセスできるようにしておくことをお勧めします。

Note

あなたが外部のMSSQLデータベースを使用している場合、あなたの実装に最も適した方法でデータベースのバックアップを取ってください。

2. 最新の変更を取得するために、セルフホスティングのBitwardenインストールを更新してください：

Bash

```
./bitwarden.sh update
```

3. `bwdata/config.yml`ファイルを編集し、`enable_scim`を`true`にしてSCIMを有効にする。

Bash

```
nano bwdata/config.yml
```

4. セルフホスティングのBitwardenインストールを再構築します：

Bash

```
./bitwarden.sh rebuild
```

5. 変更を適用するために、セルフホスティングのBitwardenインストールを再度更新します：

Bash

```
./bitwarden.sh update
```

サーバーでSCIMが有効になったので、SCIM統合ガイドのいずれかを使用して、Bitwarden組織を統合してください：

- [Azure Active Directory](#)
- [オクタ](#)
- [ワンログイン](#)
- [ジャンプクラウド](#)